

## インターバンクの声（2016年10月28日）

ロンドン市場が開始してからもドルのじり高が続いた円相場だったが、ニューヨーク勢の参入後には105円手前で動きが止まり、105円乗せは金曜日以降に持ち越しかとも思われた。数日前から105円ではそれなりの金額のドル売りオーダーが待ち構えていると噂され、買ってもその直後から反落しそうな気配が漂っていたこともあり、市場の先頭を切ってまで節目の水準に手を付けようとする人は多くなかった。それでも小一時間小康状態が続いた後、米中長期金利が上昇し始め、米中古住宅販売仮契約指数が予想を上回ったこともあって、ついに105円の大台に乗せた。ただ、105円には乗せたものの、その後105円30銭台まで買い上げる直前ではドル買い継続に躊躇する動きも見られ、今晚の米GDP速報値、来週の米連邦公開市場委員会(FOMC)や雇用統計を待たず直ぐに106円を狙うのは難しそうに見える。昨晩発表された9月の米耐久財受注で、非国防資本財から航空機を除いたコア受注が前月比で1.2%減ったことも少し気になる。

---

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。